

北海道のどこにも核のごみ捨て場はいりません 寿都町長、神恵内村長に文献調査応募表明しないよう要請！

—道原発連～10月8日午後、両町村長に6項目の根拠を示しFAXで要請—

1、寿都町も神恵内村も、活断層が走り不適地は明白 ～ 地質や地震の専門家が指摘

寿都町には、黒松内低地断層帯（想定地震規模MG7.3以上）が走り、神恵内村には泊原発北西沖15キロの海底に西方断層という活断層が走っており、寿都も神恵内も深地層処分地には不適地というのが地質や地震の専門家の意見です。「科学的特性マップ」の適地から除外すべきです。

2、経産省・NUMOばかりの住民説明会では地層処分の危険なことは伝わっていません

日本は世界有数の地震国、火山国で、4つのプレートの境界に位置し、10万年間もの安全は保障できません。日本学術会議は、深地層処分には国民合意がなく白紙から見直すべきで、暫定保管と総量管理の2つの政策枠組みの柱にして根本的見直しを提言しています。国がこれを無視しています。

3、核のごみをつくる六ヶ所再処理工場は稼働の見通し無く、住民まきこむ候補地選定に道理なし

4、原発マネーに続く核ごみマネーでは、町も村も風評被害などで一層の衰退が必至

寿都町長も神恵内村議会も、「泊原発でお世話になっている」とか「核ごみの処分場の調査に応募し一石投じるのだ」などと言っています。しかし、「原発」交付金はもらったが、地元の地場産業は衰退の一途。その上、処分技術が未確立な核ごみの最終処分場の候補地選定の文献調査応募は、核ごみマネーは入るが、風評被害が広がり、漁業も水産加工業も観光も一層衰退、町や村の存亡にかかわる。豊かな地場資源を生かし、核のごみのない町・村づくりを進めましょう。

5、議会と首長でだけで決めてはならない。住民こそ主人公。住民投票は不可欠。

ことは、町や村の存亡にかかわる大問題です。町村長と議会だけで決めてすむ問題ではありません。少なくとも住民投票を行うべきです。また次代を担う子どもたちにも説明会を行い、小学生や中学生、高校生の子ども投票も行い結果を尊重すべきです。

6、核抜き道条例は、道内自治体も遵守が当然

10月4日 “ちょっと離れてスタンディング”に150人

北海道を核のごみ捨て場にしないで！

—脱原発をめざす女たちの会・北海道主催の2回目の“ちょっと離れてスタンディング”に道原発連も参加しアピールボード掲げと2つの署名を訴え—

10月4日（日）正午から、札幌駅前通りの大通西3丁目から道庁赤レンガ前テラス付近ま



で、約150人が参加して、1.5kmほどのソーシャルディスタンスを取りながら、横断幕やアピールボードを掲げて、“北海道を核のごみ捨て場にしないで！”とアピールしました。

道原発連から4人以上が参加し、アピールボードを掲げながら、寿都町長への核のごみの文献調査応募検討表明の撤回を求める署名と鈴木道知事宛の「泊原発の再稼働を認めないで下さい」署名への協力を呼びかけました。

原発連事務局FAX通信 第1035号 2020年10月11日

原発問題全道連絡会 事務局発行 Tel:011-777-1060、Fax:011-777-1061

明日 12 日、10 月イレブンアクションにご参加を！

すでに案内チラシ（案）を送付しています。下記の予定です。ご協力をお願いします。

◇日時 10 月 12 日(月)12 時 15 分～同 45 分

◇場所 JR札幌駅西側 紀伊国屋書店札幌本店前

◇行動 「北海道に核のごみ捨て場はいりません！」「原発ゼロ基本法を実現しよう」「泊原発の再稼働を認めないで下さい」知事宛署名行動（横断幕掲げリレートークと宣伝・署名行動など

” 北海道に核のごみはいらない！ “ 寿都町長と神恵内村長にFAXを集中しよう！

— 原発連がFAXの送付を呼びかけています—

<送付先FAX番号>

寿都町役場 : 0136-62-3431

神恵内村役場 : 0135-76-5544

「菅首相の違憲・違法な 日本学術会員 6 氏任命拒否は許せません！ 任命拒否を取り消し直ちに任命せよ」

— 北海道憲法共闘が 9 の日行動で緊急抗議—

10 月 9 日、札幌中心街パルコ前で緊急抗議行動が行われ、原発連からも 3 人参加しました。

「核燃料サイクルを考える岩内・寿都の旅」に
行こう ～ (株)旅システムとたかさき法律事務所 9 条の会共同企画・原発連後援
申し込み締め切りは明日 12 日です。すでに案内チラシ(仮申込書つき)
を送付しています。希望される方は、明日中に仮申込書で申込みましょ
う。なお、原発連から 1 名参加の予定です。

原発連事務局FAX通信 第1036号 2020年10月12日

原発問題全道連絡会 事務局発行 Tel:011-777-1060、Fax:011-777-1061

北海道に核のごみ捨て場はいりません！

—10月イレブンアクションに7団体15人でアピール！—

台風14号崩れの影響で小雨が降り始める中、10月のイレブンアクションに取り組みました。



福島原発事故から9年7カ月目の今も3万人を超える福島県民が自宅に戻れず、戻った町や村でも7割の方々は戻れないままで、事故収束の見通しは今も立っていません。原発と人間社会が共生できないことは明らかです。ところが、国も東電も反省せず、原発推進に固執、国民多数の原発をやめてほしいとの願い背を向け続けています。

いま原発の使用済み核燃料を再処理する過程

で出てくる核のごみ・高レベル放射性廃棄物の最終処分場の候補地選定の第一段階・文献調、後志管内の寿都町と神恵内村が、周辺3町村や羊蹄山麓7町村などの反対を無視して、多額の交付金目当てに手を挙げ大問題になっています。

この問題について、畠山和也前衆議院議員、真下紀子道議会議員、三上友衛道労連議長らが代わる代わるマイクを握って訴えました。

”北海道に核のごみはいらない！” 寿都町長と神恵内村長にFAXを集中しよう！

—原発連がFAXの送付を呼びかけています—

<送付先FAX番号>

寿都町役場 : 0136-62-3431

神恵内村役場 : 0135-76-5544

「核燃料サイクルを考える岩内・寿都の旅」に 行こう ~ (株)旅システムとたかさき法律事務所 9条の会共同企画・原発連後援

—今日12日が申込締切日となっています—

この「旅」の案内チラシ(仮申込書つき)は10月2日発送で送付させていただきました。

この「旅」は、核のごみ捨て場の最終処分場の候補地を選ぶ第一段階の文献調査に、泊原発のある後志管内の寿都町と神恵内村が名乗りを上げている問題について、1日目の11月9日は寿都町で、2日目の11月10日は岩内町で、現地の方々との懇談交流も計画されています。ぜひ参加してみませんか。今日が参加申し込みの締め切り日です。希望される方は、ぜひ案内チラシの仮申込書に書いて申し込んでみませんか。お呼びかけします。

原発連事務局FAX通信 第1037号 2020年10月13日

原発問題全道連絡会 事務局発行 Tel:011-777-1060、Fax:011-777-1061

10・18STOP再稼働！

「さようなら原発北海道集会」に参加しよう！

— さようなら原発 1000 万人アクション北海道」実行委員会主催、「戦争させない北海道委員会」総がかり行動協賛 —

メインスローガン ☆泊原発の「再稼働」を許さない ☆「核抜き条例」を遵守させよう

◇日時 20 年 10 月 18 日(日)11:00～12:00

◇会場 札幌大通公園西 6 丁目

◇スピーチ 小野有五さん(北大名誉教授) 麻田信二さん(道生協連会長理事)
清末愛砂さん(室蘭工業大学准教授)ほか数名

注)集会のみで、デモパレードはありません。参加者はマスク着用、一定の距離を保って参加下さい。

寿都町で文献調査STOPめざしたたかう町民

11月3日小泉純一郎元総理迎え核ごみ問題 大講演会の成功めざす ～ 幸坂順子町議に聞く ～

片岡春雄町長が9日上京し、NUMOの近藤俊介理事長に文献調査応募書を提出、応募手続きを終え、「これで町民との溝をつくらないですむ」などと一方的な見解を述べています。町長が応募手続きを終えたいま、反対の町民は気落ちしているのではとの声も聴かれます。いまの現地の状況について、幸坂順子町議（原発問題後志住民の会事務局次長）に聞きました。

開口一番幸坂順子さんは、「町民は全く諦めていません」「町長の自宅に火のついた棒のようなものが投げ込まれましたが、私の自転車もスタンドのバネ部分が壊され、自宅の掲示板の「核のごみNO!」のポスターが2回連続、破り捨てられ、今日これから警察に越前谷町議と一緒に被害届に行くところです。すでに町民の間に分断は起きています。しかし、多くの町民は、何を言っても聞く耳を持たない町長の態度に怒り、町民の会の中心メンバーの水産加工業者の方々は、いま仕事の最盛期で時間が取れませんが、全く諦めていません。私も直接請求の町議会もありますし、条例制定を求める請願の審査も行われます。ますます元気に頑張ります」ときっぱり語ってくれました。

“ 北海道に核のごみはいらない！ ”

寿都町長と神恵内村長にFAXを集中しよう！

—原発連がFAXの送付を呼びかけています—

<送付先FAX番号>

寿都町役場 : 0136-62-3431

神恵内村役場 : 0135-76-5544

原発連事務局FAX通信 第1038号 2020年10月16日

原発問題全道連絡会 事務局発行 Tel:011-777-1060、Fax:011-777-1061

あさって日曜日の 10・18STOP再稼働！

「さようなら原発北海道集会」に参加しよう！

— さようなら原発 1000 万人アクション北海道」実行委員会主催、「戦争させない
北海道委員会」総がかり行動協賛 —

メインスローガン ☆泊原発の「再稼働」を許さない ☆「核抜き条例」を遵守させよう

◇日時 20 年 10 月 18 日(日)11:00～12:00

◇会場 札幌大通公園西 6 丁目

◇スピーチ 小野有五さん(北大名誉教授) 麻田信二さん(道生協連会長理事)
清末愛砂さん(室蘭工業大学准教授)ほか数名(政党代表など)

注)集会のみで、デモパレードはありません。参加者はマスク着用、一定の距離を保って参加下さい。

道原発連は次の 2 つの横断幕持参し参加の予定

◎「北海道に核のごみ捨て場はいりません 寿都・神恵内は文献調査やめよ！」

◎「泊原発の再稼働は認めないで下さい 署名にご協力下さい」

11・28樋口英明講演会のチケット(参加券 1 枚 1000 円)普及にご協力ください

樋口英明元福井地裁裁判長の講演会が下記の通り開催されます。主催は、泊原発を再稼働させない北海道連絡会です。加盟団体が協力し合って、会場(定数360席)を一杯にできるよう、チケット(参加費:1枚1000円、学生無料)の普及が重要です。

◇日時 11 月 28 日(土)開場 14 時、開演 14 時 30 分

◇会場 札幌市教育文化会館小ホール

◇第1部 特別報告(寿都と神恵内の核のごみの文献調査応募、受諾
問題で現地からの報告)

◇第2部 樋口英明さん講演会

演題「わたしが大飯原発を止めたわけ(理由)」

◇チケット販売 道新プレイガイド、加盟団体で扱っています。予約は不要ですが、
成功にはチケットの事前販売・普及が重要です。申込んで下さい。
原発連分は下記へ連絡ください。

Tel:090-2071-4184(佐藤久志)、070-2009-6893(米谷道保)

—当日の参加者には、コロナ対応で、マスク着用、手洗い、大声発しないなどにご協力願います—

原発連事務局FAX通信 第1040号 2020年10月22日

原発問題全道連絡会 事務局発行 Tel:011-777-1060、Fax:011-777-1061

知事は、核抜き道条例を強化し、核のごみの最終処分場を北海道につくらせない条例に改正強化すべき

― 菊地葉子道議(共産)が3定予算特別委で鈴木知事に迫る ―

第3回定例道議会の予算特別委(9月30日)で、菊地葉子道議(共産党、道原発連顧問)は、核のごみ問題について鈴木知事の考えを質しました。遅くなりましたが、要点を紹介します。
菊地道議:寿都町、神恵内村の突然の(文献調査の)受入れ表明に、全道各地の自治体や漁業・観光業団体から不安と反対の声が急速に広がっています。文献調査に応募しないよう求めているものが圧倒的です。知事はこうした声を真剣に受け止めたのか。

鈴木知事:隣接3町村や漁業者はじめ様々な方々の生の声を、寿都町長や経産相に直接伝えた。「核抜き道条例は」道内に処分場を受け入れる意思がないとの考えで制定されたもので、寿都町のみならず、道内すべての市町村においても、順守していただきたいと考えている。

菊地道議:両町村とも、応募の結論に向けた動きが加速しており、知事は今後どうするのか。

鈴木知事:道と市町村の関係は独立・並列でイコールパートナーとの認識のもと、条例順守と慎重な対応についてご理解いただけるよう様々なレベルで対話を重ねていく考えだ。

菊地道議:(最終処分場の機能について)NUMOの説明では、1000年間は機能を維持できるとあったが、実証試験もしておらず、なぜ安全と言い切れるのか。経産省の資料によると、ガラス固化体の放射線量が元のウラン鉱石並みに低下するのに、数万年から10万年かかるがあるとあるが、安全を保障する期間が1000年で足りるのか。

鈴木知事:NUMOによれば、放射線量が大きく減衰するまでの少なくとも1000年間は、ガラス固化体を地下水に触れさせないという機能が求められ、それ以降の期間は、緩衝材などが人工バリアの機能を維持するほか、岩盤が天然バリアとなり、安全性を確保するとのこと。

菊地道議:条例遵守について、知事が強い気持ちで取り組まれても従わない町村が出てきています。最終処分場は北海道には造らせないという明確な条例に強化すべきではありませんか。

鈴木知事:道条例は、道内に最終処分場を受け入れる意思がないとの考えにより、道議会の議論を踏まえ、制定されたもの。現在まで20年にわたって役割を果たしてきたことは、尊重すべきものであり、条例は遵守しなければならないと考えている。

原発連ニュース第325号(20年10月20日)を発行しました。ご一読ください。

なお4頁の下方囲み記事の本文7行目土屋和幸氏は、樋谷和幸氏でした。お詫びし訂正します。

11・28樋口英明講演会のチケット(1枚1000円)普及にご協力ください

◇日時 11月28日(土)開場14時、開演14時30分

◇会場 札幌市教育文化会館小ホール

◇第1部 特別報告(寿都と神恵内の核のごみの文献調査応募、受諾問題で現地からの報告)

◇第2部 樋口英明さん講演会

演題「わたしが大飯原発を止めたわけ(理由)」

◇チケット販売中 道新プレイガイド、加盟団体で扱っています。道原発連分は下記へ。

Tel:090-2071-4184(佐藤久志)、070-2009-6893(米谷道保)

―当日の参加者には、コロナ対応で、マスク着用、手洗い、大声発しないなどにご協力願います―

2020109月のチェルノブイリデー

10・26原発ゼロへ宣伝行動

原発と人類は共存できません 原発ゼロ実現を！と声をあげましょう

チェルノブイリ原発事故から34年6カ月。いまだ30キロ圏内は立ち入り禁止です。事故を起こした4号機を覆っていた石棺が壊れ、2年前に巨大な鋼鉄製シェルターで覆い、今もそのなかで廃炉作業中です。日本では、福島第一原発事故から10年目に入っても3万人を超える県民が避難を強いられ“ふるさと”は奪われたままです。事故収束の見通しも立っていません。原発と人間社会が共生できないことは明らかです。原発ゼロ実現を！と声を上げましょう。

コロナ対応と原発は両立不可能。審査に7年「合格」できない泊原発は廃炉に！

今の新型コロナでは、その感染防止策”3密”回避や換気の励行と原発の放射線防護策は両立できません。コロナ禍に原発はいりません。さらに泊原発は規制委の審査開始から7年余、「合格」できず行き詰まっていますが、電力不足はありません。泊原発は再稼働せず廃炉にすべきです。

寿都町も神恵内村も核のごみ処分場に不適地！文献調査は中止すべき！

寿都町長は10月9日、町民や周辺自治体、広範な道民の反対の声に逆らって、核のごみの深地層処分場建設への第一歩・文献調査の応募に踏み切りました。神恵内村長も、村議会が応募を求める請願を可決した翌日10月9日、経産省の文献調査実施の申し入れをその日のうちに受け入れました。

しかし、寿都町には黒松内低地断層帯が走り、神恵内村は地震性隆起が指摘される積丹半島西岸に位置し、どちらも「最終処分場には不適地だ」と学者や専門家が指摘しています。日本学術会議も、世界有数の地震国で火山列島の日本に、「万年単位に及ぶ超長期にわたって安定した地層を確認すること」に対して、現在の科学的知識と技術的能力では限界があることを明確に自覚する必要がある」と指摘しています。寿都町と神恵内村の「交付金」目当ての文献調査応募・受入れは中止すべきです。

原発・核燃サイクル政策は総破たん！野党連合政権で原発ゼロを！

安倍政治を継承する菅政権は、原発・核燃サイクル政策推進も継承。しかし、安倍退陣と時を同じくして日立製作所がイギリスでの原発建設の撤退を決定、原発輸出は総破たんしました。菅政権の原発・核燃サイクル推進にも未来はありません。

今こそ、市民と野党の共闘を大きく広げ、野党連合政権の実現で、市民連合が9月25日に立憲野党に提出した政策要望書の「2050年までに再生可能エネルギー100%実現」「原発のない分散型経済システムを作り上げる」政治、「原発のない社会」の実現へ力を合わせましょう。

◇日時 2020年10月26日(月)12時15分～45分

◇場所 JR札幌駅北口駅前広場(西側)

◇主な行動 道知事宛新道民署名、核ごみ処分場ストップ・原発ゼロ実現を訴えます



核ごみいらない (10月イレブン行動)



9月イレブンアクション(9月11日)



7月イレブンアクション (7月11日)

主催：原発問題全道連絡会・国民大運動北海道実行委員会

(〒060-0909 札幌市東区北9条東1丁目2-22 労働センター2階 道労連内)

電話：011-777-1060、Fax：011-777-1061